

2026 7/28

No.2263

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
—神奈川政経懇話会—



高校野球の第108回全国選手権神奈川大会が5日、横浜スタジアム（横浜市中区）で開幕し、26日予定の決勝戦まで熱戦が続く。172チームが参加した開会式は、熱中症対策で夕方に開催された。



# 政経かながわ

2026 7/28 No.2263

## contents

|                                                                |    |
|----------------------------------------------------------------|----|
| 視点点描                                                           | 3  |
| 数字では測れない価値                                                     |    |
| 講演録                                                            | 4  |
| ファクトチェックとリテラシー<br>～偽情報に惑わされないために<br>日本ファクトチェックセンター編集長<br>古田 大輔 |    |
| 政治双眼鏡                                                          | 8  |
| 不誠実なプロセスにあぜん<br>皇室典範改正、世論を無視                                   |    |
| よんななエコノミー                                                      | 9  |
| 行革甲子園                                                          |    |
| 舟越美夏×リアルワールド                                                   | 10 |
| 「バラが犯罪になる国で生きる」<br>弾圧続くミャンマー                                   |    |
| 管理職はつらいよ！                                                      | 11 |
| Z世代には「優しさ」より「見通し」が効く                                           |    |
| くらし2026                                                        | 12 |
| 学校医の不足に打開策はあるのか                                                |    |
| 神奈川景気データファイル                                                   | 14 |

### 事務局だより

◇2026年8月定例講演会  
8月20日(木) 午後1時30分～3時  
メルヴェーユ(桜木町駅近く)  
講師：国際園芸博覧会協会  
事務次長 小池 政則氏  
演題：GREEN×EXPO 2027  
最新情報について

◇2026年9月定例講演会  
9月10日(木) 午後1時30分～3時  
神奈川県民共済13階大会議室  
(桜木町駅近く)  
講師：湘南ベルマーレ  
フットサルクラブ社長  
佐藤 伸也氏  
演題：戦略としての地域経営  
「スポーツとローカルゼ  
ブラ政策」

◇2026年10月定例講演会  
10月26日(月) 午後1時30分～3時  
県民共済みらいホール  
(桜木町駅近く)  
講師：鉄道作家・ジャーナリスト  
森川 天喜氏

【お知らせ】会報「政経かながわ」に会員企業の新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局☎045 (226) 2121。

# 視点 点描



## 数字では測れない価値

先日、大学生が職場見学を訪れ、ウェブ編集の仕事について紹介する機会があった。

今の編集現場では、ネット上でニュース記事が何人に読まれたか、どの見出しに関心が集まったかなど、読者の反応をリアルタイムで把握できる。紙の新聞が中心だった頃には想像するしかなかったことだ。

交流サイト（SNS）や動画配信が当たり前の世代に向けて、私はあえてこんな話をした。

「数字だけでは、ニュースの価値は測れないんです」

多くの人手と時間をかけたタキョメンタリー番組が視聴率だけでは語れないのと同じである。もちろん、データは編集の強力な味方だ。読者の関心を知り、より伝

わる形を考える手掛かりになる。だが、足元の数字だけを追いかけていては見えなくなるものもある。話題性の高い事象は大きな反響を呼ぶ。事件や事故、有名人の言動などは多くの人の目を引く。それ自体を否定するつもりはない。ただ、年単位で振り返ったとき、本当に地域にとって意味をなすニュースとは何か。

災害への備えを伝える企画。まちづくりの課題を掘り下げた連載。人口減少や子育てについて考える特集。そして戦禍の跡を伝える報道。配信直後は決して大きな数字にならなくても、必要ときに読み返され、折に触れて参照される。わがまちの課題を考える土台となり、人々の記憶や歴史の一部として残っていったほしい。これは読者との長い関係の中で、価値を持ち続ける記事をどう届けるかという課題でもある。

数字の重みは、これまで取材で接してきた多くの経営者から教わった。一方で、成果がすぐには見えない取り組みほど大切だという話も繰り返し耳にしてきた。人材育成、技術開発、地域との関係づくり。将来に向けた種まきを怠らないことがやがて組織の力になる。ふとそんな教えを思い返す。

職場見学を終えた学生たちは、先の話をどう受け止めたのだろうか。「オールドメディア」と呼ばれることもある私たちの言葉がどこまで響いたかは分からない。

未来に少しでも役立つ情報を届けられていくか。難しい問いだが、編集という仕事の醍醐味であり、大切な役割だ。地域で日々営みを重ねる人たちに学びながら、私たちも伝えるべき価値を考え続けたい。

（神奈川新聞社統合編集局編成部長  
デジタル編集担当・鈴木美帆子）